



会社概要

商 号 株式会社ナック (NAC CO.,LTD)

所 在 地 〒163-0675
東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル42階
TEL.03-3346-2111
FAX.03-3348-4311

設 立 1971年 5月 20日

代 表 者 代表取締役社長 吉村 寛

資 本 金 6,729,493,750円

子 会 社 株式会社アーネスト/株式会社JIMOS/株式会社ジェイウッド/ナックスマートエネルギー株式会社/
株式会社ケイディアイ/株式会社ナックライフパートナーズ/株式会社ベルエア/エースホーム株式会社
株式会社トレミー/株式会社アップセール



CSR REPORT 2022

ナックグループ CSRレポート



ナックグループは
「暮らしのお役立ち企業」から「社会のお役立ち企業」へ
これまで、そしてこれからもお客様とともに。

● 目次

沿革	02
トップメッセージ	03
企業理念	04
NAC WAY(大切にしたい価値観)	
SDGsへの取り組み方針	05
CSR基本方針(行動規範)	
CSR推進	06
CSR推進体制、CSR活動紹介、社内浸透活動	
人材教育・制度	07
採用・研修のリモート化、ダイバーシティ推進、 社内表彰・報奨制度	

クリクラ事業	08
クリクラ事業	
レンタル事業	10
ダスキン事業、害虫駆除事業(with)、株式会社アーネスト	
建築コンサルティング事業	12
建築コンサルティング事業、 ナックスマートエネルギー株式会社、 エースホーム株式会社	
住宅事業	14
株式会社ジェイウッド、株式会社ケイディアイ	
美容・健康事業	15
株式会社JIMOS、株式会社ベルエア	

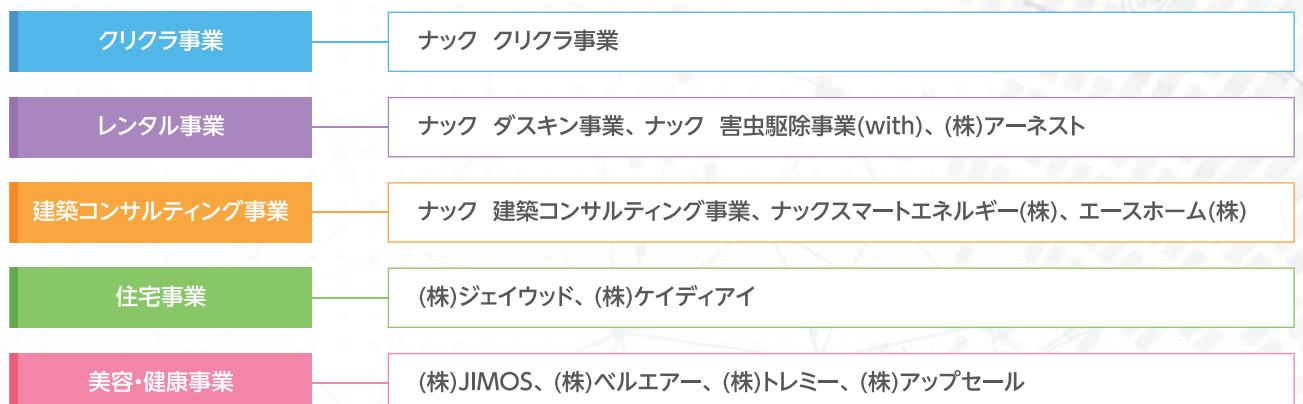
● 編集方針

編集方針：本レポートは、株式会社ナックとグループ会社のCSRに関する考え方とその取り組みについて、広くステークホルダーの皆様にご理解いただくとともに、皆様とのコミュニケーションを促進していくために発行します。また、コーポレートサイトでも最新情報を随時更新しています。
<https://www.nacoo.com/sustainability/>

発行：2022年4月

免責事項：本レポートは、発行時点での情報に基づいて作成しています。掲載内容は、今後の事業環境の変化などにより実際の結果と異なる可能性があります。

● ナックグループ構成図



「社会のお役立ち企業」として
“より良い未来の実現”を目指してまいります。

株式会社ナック 代表取締役社長 吉村 寛



ナックがダスキンのフランチャイズ加盟店となり清掃用品のレンタル業からスタートして半世紀。私たちは「暮らしのお役立ち企業」として「つねに消費者と向き合う」ことを大切に、「消費者のお困りごとを担う」ための活動を続けてきました。

ナックグループは、宅配水のクリクラ事業、ダスキンなどのレンタル事業、建築コンサルティング事業の他、子会社ならびに関連会社にて住宅事業および美容・健康事業を手がける複合企業体です。5つの事業の柱をバランスよく組み合わせることで、安定したお客様基盤を拡大しながら、時代の変化とともに変わる、世の中の要請に応えて柔軟に事業を推進してまいりました。

そして今年度、次なる50年に向け、より企業のパーソンを意識したコーポレートメッセージ「暮らしラクラク♪ナック」を掲げることとなりました。100万件以上にのぼる多くのお客様とダイレクトに接し、「快く楽しい暮らし」に役立つ商品やサービスを通じて、常に消費者や社会と向き合っていくというメッセージが込められています。

現在、新型コロナウイルス感染症渦中の苦境をはじめ、世界情勢はめまぐるしく動いています。昨今、世界中で大規模な自然災害が発生し社会的混乱をもたらしていますが、環境問題のみならず国際協調、人権の尊重、ダイバーシティなど、世界が一丸となって持続可能な社会を目指す機運が高まっております。この様な社会背景を踏まえ、ナックグループではサステナビリティに沿った方針を軸として、より大きな“世の中のお困りごと”への担い手として活動を行ってまいります。

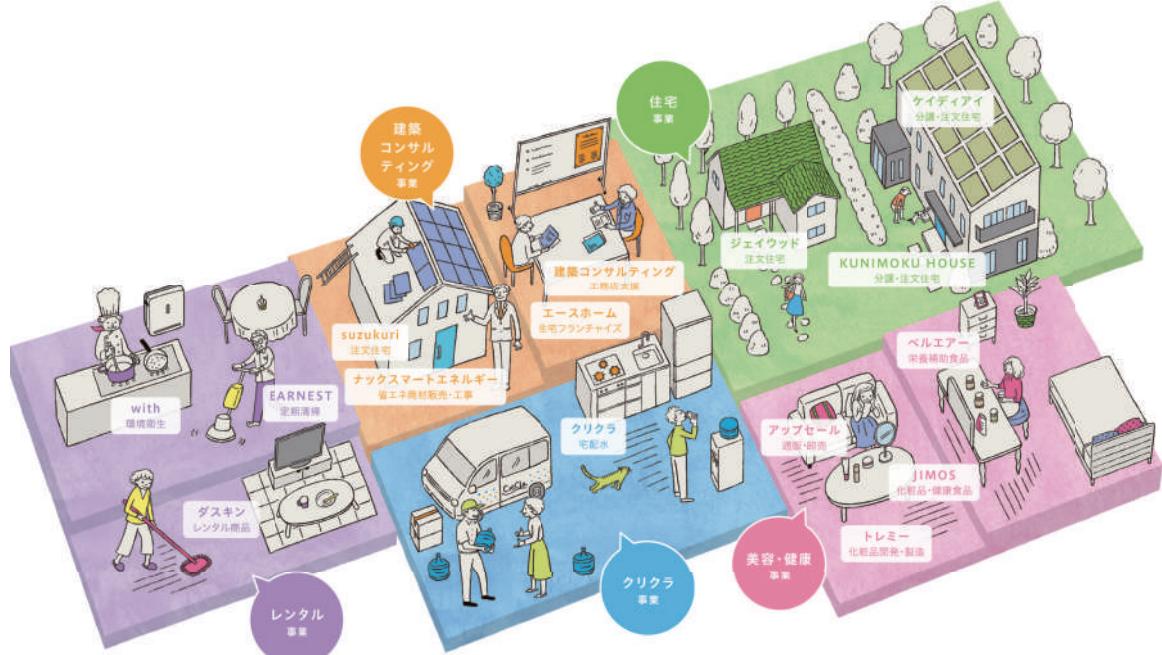
以前より、営業所の太陽光発電や地熱を利用した電力削減をはじめ、日本赤十字への寄付やベルマーク寄贈などのCSR活動を実施していましたが、同時に、各事業に関連した取り組みも積極的に進めています。クリクラ事業では植樹を通じた水源保全や森林再生、機材・廃材のリサイクル化、ダスキン事業では寄附付き商品の販売により、官公民間協働プロジェクト“子供の未来応援国民運動”への参加、また建築コンサルティング事業では、同事業の会員企業の輪を活用し、地場建築業界全体でのSDGsに向けた取り組みを強化しています。これらの取り組みが社会課題の解決に寄与し、「誰一人取り残すことない、より良い未来の実現」の一助になると信じています。

今後も私たちナックグループは、自らの強みを生かした事業運営を通じ、「社会のお役立ち企業」としてその役割を果しながら持続的な発展・成長を目指してまいります。



暮らしラクラク♪ ナック

暮らしは、生きている間ずっと続していくもの。暮らしがラクになったら、人生はきっと楽しくなる。
楽しく生きる人が増えたら、社会はきっと明るくなる。
だから私たちは、“社会のお役立ち企業”として暮らしをラクにするサービスを提供しています。



企業理念

企業理念として「企業は損得に非ず、常に善の道を歩み、広く社会に貢献するため発展成長を第一義とすべし」と掲げています。

企業は成長し、存続することで、はじめて社会貢献ができます。
日本は少子・高齢化時代を迎えてますが、これをチャンスと捉え、新たなサービスを創出し、
国内に雇用を生む。
そうした事業運営を通して、社会に貢献する企業でありたいと思います。

NAC WAY (大切にしたい価値観)

変化に対して敏感であるとともに、企業理念や伝統も継承したいと考えます。

そこで創業より大切にしている価値観、すなわち「感謝心」「規律性」「具体的」「精一杯」「即実行」の5つを「NAC WAY」にまとめ、社員の行動指針としています。

謙虚に感謝することを忘れない「感謝心」
けじめ、節目、切り替えを大切にする「規律性」
明確な目標を持って行動に移す「具体的」
自分のいる環境で最善を尽くす「精一杯」
思い立ったらすぐ行動「即実行」



SDGsへの取り組み方針

社会が企業に求める役割や責任、寄せられる期待は今や多岐にわたり、その重要度もますます高まっています。

ナックグループでは、お客様やビジネスパートナーに対してはもちろん、国や地域ともよりよい関係を築き、自然や地球環境に配慮しながら活動を継続していくことが社会的な責任であると考えます。

この理念は、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」とも合致しています。「暮らしのお役立ち企業」であるナックグループは、SDGsの精神を理解した上でお客様の生活をサポートするとともに、社会のさまざまな課題を解決するために尽力していきます。

SUSTAINABLE GOALS



CSR基本方針（行動規範）

企業理念とNAC WAYのもと、「暮らしのお役立ち」を通じて社会課題の解決と、サステナブル(持続可能)な社会の実現を目指し、CSR活動を推進します。

お客様に対して

日々のコミュニケーションを通して、安心で安全な商品・サービスを提供します

株主の皆様に対して

常に新しい価値と需要を創造し、持続的な成長を目指します

取引先・競合他社・行政に対して

法令・社会規範を遵守し、公正な企業活動を行います

従業員に対して

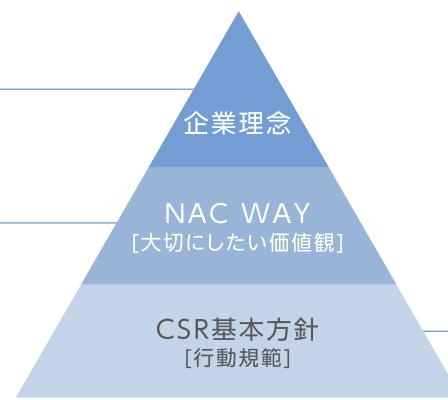
積極的な人材教育と、より良い職場環境の提供に努めます

社会に対して

地域社会との密接な連携・協調を図り、健全で豊かな社会づくりに向けて貢献します

地球環境に対して

環境への影響を考慮した事業運営を心掛け、環境保全活動に積極的に取り組みます





CSR推進

CSR promotion

● CSR推進体制

未来への持続性を意識した事業運営を積極的に行うため、社内にナックグループCSR推進委員会を設置しています。ナックグループCSR推進委員会は、IR・広報担当の取締役1名と、各事業から選出されたメンバーで構成されており、組織横断的な活動を行っています。委員会内での議論や活動内容については、年に4回、取締役会にて報告し、今後の方針や具体的な施策について検討・決定を行っています。



● CSR活動紹介

被災地への復興支援

台風や地震発生時には被害に遭われた皆様の支援を目的に、会社の従業員から義援金を募っています。

集まった金額と同額を会社が上乗せする「マッチングギフト」による義援金を拠出し、ナックグループ各協力会社や被災地の各災害対策本部へ寄付しています。

ベルマーク寄贈

第51期分の寄贈で、活動開始から14年目を迎えるベルマーク収集。1点あたり1円として集計されたベルマーク預金は、主に学校の設備や教材の購入費として使用されています。

「すべての子供に等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」という想いのもと、今後も引き続き、国内外でハンディキャップを背負いながら学ぶ子供たちへの支援を行っていきます。



日本赤十字社への貢献

献血は多くの患者を救うことができる、非常に貢献度の高い活動です。社内では無理のない範囲での協力を呼び掛け、集団献血の実施時には多くの従業員が参加しています。

また2019年に、日本赤十字社への一定以上の活動支援を行った法人に贈られる「金色有功章」もいただきました。



● 社内浸透活動

地域清掃や打ち水、ベルマーク収集などの小さなCSR活動を「ちょいボラ(=気軽に取り組めるボランティア活動)」と名づけて取り組んでいます。

環境省が推進する「fun to share」にも賛同しており、毎年社内ではライトダウンキャンペーンやオフィスでできるエコ強化月間を実施しています。

また教育面では、社内インターネットを活用したCSRに関する情報発信(「CSR通信」の発行)や、eラーニングでの研修実施など、CSRへの理解促進を図っています。



人材教育・制度

Human resource development & System

● 採用・研修のリモート化

事業の基盤である「人材」を採用・育成するため、積極的な採用と階層別研修の充実などに力を入れています。

オフィスまでの距離や移動時間に縛られることなく、多様な人材を受け入れる体制づくりやコロナ禍において研修の機会ロスを起こさないために、採用・社内研修ではリモート化を積極的に推進しています。



● ダイバーシティ推進

1.女性活躍の推進

「女性活躍推進法」に基づき、女性の活躍推進に向けた行動計画を策定しています。

女性営業職(キャリア)採用を拡充しているほか、グループ会社においても住宅営業、設計、インテリアコーディネーター、施工管理、アフターメンテナンスなどあらゆる分野で女性が活躍しています。



2.障がい者雇用枠の拡大

ハンディキャップに関わらず自立した生活ができるよう、障がいのある方のさらなる雇用と定着を目指しています。それぞれの特性に合った業務の検討、就労定着のフォローアップ体制の整備などに積極的に取り組んでいます。



3.高年齢者雇用への取り組み

高齢化が進み人生100年時代といわれる中、60歳定年後の就労問題の解決および人材の活用を図るため、定年後再雇用制度を取り入れています。

75歳定年制度を設けているグループ会社もあり、本人の希望や健康状態に配慮しながらセカンドキャリアのサポートができる体制を整えています。



● 社内表彰・報奨制度

一年間を通して高い営業成績の基準に到達した従業員を「エース社員」として表彰する「ナックエースクラブ」や、事業部ごとの報奨旅行、長年ナックグループに貢献してくださった従業員の方へ、その功績を称え感謝の気持ちを表する「永年勤続表彰」などがあります。

これらのような表彰・報奨制度を設け、組織の活性化と従業員の仕事に対する意欲の向上に取り組んでいます。





クリクラ事業

クリクラは人にも環境にもやさしいお水です。捨てない「サステナブルなボトル」の採用や輸送面でのCO₂削減、サーバーの100%リサイクルにも取り組み始めるなど循環型社会を目指しています。お水を通して快適な暮らしをご提供しています。



クリクラ事業

CreCla



● 環境に配慮したサステナブルなボトルの採用

事業開始当初より「サステナブルなボトル」を採用し、使い捨てのボトルではなく繰り返し利用することで環境にやさしい取り組みを行っています。



回収された空ボトルは、世界レベルの衛生基準を誇るクリクラプラントにおいて厳重な品質管理の下、検査・洗浄して再利用しています。

※クリクラは宅配水業界ではじめてエコマークを取得

● 輸送エネルギーの削減

プラントを全国44ヶ所に設けることで、お客様へお水をお届けする際の輸送エネルギーを極限まで抑えています。クリクラのお届け方法は、天然水利用の宅配水と比べCO₂排出量を79%※2削減できることが分かっています。



● 工場見学・行政との連携

社会貢献の一環として、地域住民の皆様をはじめ、地元の保育園の園児、小学校の生徒などを招き工場見学を実施しています。宅配水業界最大規模の複合見学では、世界の水事情や水の歴史についても学ぶことができます。

株式会社ナックの創業地である東京都町田市や、クリクラ本部のある埼玉県本庄市と協力のもと、市内にある他社の工場見学と連携し、クリクラミュージアムを新たな観光資源として活用しています。



● リサイクル定規の寄付

年間約2.2%発生する廃棄ボトルからオリジナル定規を作成しています。国内外の子供たちに寄付することで、限りある資源を有効に使うことの大切さを伝えています。

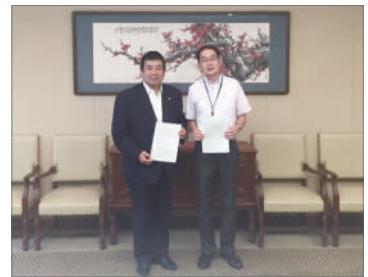


《寄付実績一例》

- 認定NPO法人ブリッジエーシャジャパンを通じて、ベトナムの小中学校に570本
- 全国子どもの貧困・教育支援団体協議会を通じて、学習支援の場に通う子供たちに3,360本
- NPO法人 全国こども食堂支援センター むすびえを通じて埼玉県内の子供たちに1,500本

● 防災・ローリングストックの啓蒙

2011年の東日本大震災をはじめ、災害時には被災地にいち早く入り、避難所にお水をお届けするなど様々な支援活動を行ってきました。



クリクラでは全国9つの市町村と「災害救援物資の供給等に関する協定」を締結しており、災害時において最大限の協力体制を整えています。

また、クリクラでは防災意識向上と、ローリングストックの啓蒙活動を推進するため、2017年より一般財団法人日本気象協会が推進する防災啓発活動「トクする!防災」プロジェクトに参加しています。

※ トクする!防災プロジェクトは2021年6月に「tenki.jp 知る防災」に引き継ぎとなりました。



● 水源林を守る「クリクラの森」

プレゼントツリー様のプロジェクトに賛同し、毎年365本の植樹をクリクラのお客様と共に山梨県笛吹市で実施しています。

プロジェクトを通じた豊かな森づくりをはじめ、持続可能な社会や水道水の源を守る活動を継続してまいります。



● オリジナル絵本の制作

水が循環していることを絵本を通じて楽しく学んでいただけるように、オリジナルの仕掛け絵本を制作しました。妊娠さん～1歳未満のお子様がいるママ達向けの対象媒体を通して数量限定でプレゼントしています。



絵本名:ちやぱちやぽ ざあざあ 作者:Lazoo / 「あそびのおうさまBOOK」シリーズでボローニヤ国際児童図書ノンフィクション賞を受賞



ダスキン事業

DUSKIN

関連SDGs



● 寄付付き台所用スポンジの販売

貧困を抱える子供たちを支援する官公署協働プロジェクト「子供の未来応援国民運動」に参加し、寄付付き台所用スポンジの売上の一部を同プロジェクトへ寄付しています。学習支援を行う団体や子供食堂、児童養護施設など、全国の支援団体に「子供の未来応援基金」が役立てられています。



● 「リユース」で循環型社会づくりに貢献

空気清浄機や抗菌機能に優れたマット・モップ等の衛生管理用品のレンタルや販売を行っています。
使用済のマットやモップは、ダスキンの工場できれいに洗浄し、品質を落とすことなく再びお客様のもとに届きます。洗浄污水はろ過して洗浄用水として再利用、マットやモップに付着した埃や汚れも資源化して再利用しています。
また、ご家庭のお客様が不在の場合に使用する納品袋にバイオマス素材袋を100%導入しました。植物由来のプラスチックを25%使用しており、温暖化防止や自然環境の保全に貢献しています。



● 時代が求めるサービスの提供

少子高齢化による介護需要の増加や、共働き世帯が増加する現代社会において、負担軽減のお手伝いをするため、様々なサービスを提供しています。

1.高齢者の生活をサポート

ヘルスレント部門では、介護用品や福祉用具のレンタルを行っています。レンタルの特性を生かした清潔かつ安全な商品を提供することで、高齢者の快適な生活をサポートとともに、介助者の負担の軽減にも役立っています。



2.家事労働の軽減

ケアサービス部門では日常的な家事だけでなく、エアコン清掃や庭木の剪定などを行っています。プロに任せることで家事労働から解放され、時間を有効活用することが可能になります。



レンタル事業

モップ・マットなどのダストコントロール商品、介護用品や福祉用具、害虫駆除機等のレンタル・販売をはじめ、総合ビルメンテナンスを行っています。お客様のニーズに合わせた衛生環境を保つお手伝いをしています。



関連SDGs



害虫駆除事業(with)

with

● 業務効率改善を実現

[with]の導入で、害虫駆除の作業時間やコストを大幅にカットすることができます。作業時間を削減することで他の作業に時間を割り当てることが可能になるため、業務効率の改善にもつながります。
また、作業時間の短縮は従業員の生産性を向上させ、ディーセントワーク（働き甲斐のある人間らしい仕事）推進にも貢献しています。



● 代理店運営を通じた雇用機会の創出

[with]のレンタルビジネスは、直営店だけではなく全国の代理店を通じて幅広く展開しています。これまでに培ったノウハウを本部から提供し、全面的な営業支援を行うだけではなく、パートナーとして良好な関係を築いています。お客様だけでなく、全ての人が満足できる、持続可能な仕組みを作っていくことも私たちの役目です。



関連SDGs



株式会社アーネスト

EARNEST

● 幅広い人材の採用

アーネストでは、これまで性別、国籍、年齢によって作業に入ることができない現場も少なくありませんでした。現在ではそのような現場をなくしていくため、お客様の理解と働く人の了解を得て作業できるように努めています。清掃という身近な作業を担う会社として、幅広い人材を採用し活躍できる場を広げていきます。



● 清掃の必要性

私たちは人々が活動する空間をきれいに保つ仕事をしています。建物は経年によって汚れてしまうことがあります、なるべく長くきれいな状態で使用できるように清掃作業を行っています。また清掃は、清潔な環境の維持に关心を持っていただききっかけとして大きな役割を担っています。





建築コンサルティング事業

全国のビルダー・工務店に向け、経営支援ノウハウ商品および建築部資材の販売と施工、住宅フランチャイズ事業を行っています。住まいを通じ人々の生活を豊かにする商品・サービスを追及し、提供しています。



建築コンサルティング事業

Construction consulting business



● 住宅産業の持続・発展に貢献

地域の家づくりを支える中小工務店を中心に、全国のビルダー・工務店に対して、経営・商品・集客・営業という4つのカテゴリーの課題解決のための分析に基づいたソリューションを提供し、永続できる強い会社づくりを支援しています。近年では経営者の高齢化などにより社会課題となっている事業承継問題の解決にも取り組み、地場住宅産業の持続・発展に貢献しています。



● 建築業界のイノベーション促進

2021年よりVRヘッドセットを活用した営業手法を開発し、中小工務店に提供しています。2020年には、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から需要の高まったオンライン住宅営業の手法をいち早く開発・提供するなど、様々な形で建築業界のDX促進に寄与してきました。



● 健康・環境に配慮した家づくり

高い省エネ性能を備えた住宅を施工するためのノウハウ商品「Arie(アリエ)」をはじめ、自然素材住宅の建築ノウハウを全国のビルダー・工務店へ提供することで、環境や安全に配慮した家づくりを推進しています。

また、建築現場における適切な資材活用による廃材の削減や、国産材を使用することによる森林の持続可能サイクル構築など、環境保全の取り組みを支援しています。



● SDGs浸透への取り組み

SDGsを工務店経営に取り入れることを目的のひとつとした経営支援ノウハウ商品『SUN.(サンドット)』を開発・提供しています。工務店経営におけるSDGsの位置づけや、環境に配慮した自然素材による省エネルギー住宅商品の提供、会員企業による「プレゼントツリー」や「子供の未来応援国民運動」といった社会貢献活動への参画を通じ、地場工務店から地域社会へSDGs浸透を後押ししています。



ナックスマートエネルギー株式会社

Nac Smart Energy



● 脱炭素社会の実現に向けて

主要事業である太陽光発電システムや蓄電池といったスマートエネルギー商材の販売・施工を通して、2050年の脱炭素社会実現に向けた活動をしています。2008年創業以来、のべ2億2500万kw/hの発電量、約5,684万m³のCO₂排出削減に貢献してきました。

※発電量およびCO₂排出量は発電シミュレーション値に基づく、当社調べによる算出



● 災害に強い家づくりの普及

取り扱っている太陽光発電システムや蓄電池は災害時の停電の際、電気エネルギーの供給源としての役割も果たします。

太陽光発電システムと蓄電池を組み合わせることで、停電時に電気の復旧まで安心して生活できるよう、災害に強い家づくりの普及に貢献していきます。



エースホーム株式会社

ACE HOME

● 住宅産業に持続可能な生産システムの構築

高齢化などによる廃業で現場職人不足となることを見据え、建物の一部を工場で製造し、建設現場で組立てる「サーモスパネル構法」を独自開発しました。工場で面材・断熱材・サッシまでパネルに組み込むため、職人の手間を削減し工事期間も短縮されます。しかも工場生産なので安定した高い品質の建物を提供できます。

また、供給する各プレカットメーカーと協力し、建物の構造体に使用する木材は持続可能性が確認できた材料を採用しています。

● 壱岐島 地方創生への取り組み

2019年より長崎県壱岐市にテレワークセンターを開設。住宅用CADシステムを活用してエースホームのMi'Like(ミライク)推進に寄与し、同市の雇用機会の創出にも貢献しています。

※長崎県壱岐市は、2018年に「SDGs未来都市」に選定され、「自治体SDGsモデル事業」に選ばれています。





住宅事業

注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売およびそれに付随する保険業務等を行っています。住宅事業においてはお客様一人一人のご要望に寄り添った注文住宅や、地域にあった暮らしやすい分譲住宅を提供しています。

株式会社ジェイウッド

J wood

関連SDGs



● 自然とともに歩む「いのちの森プロジェクト」

愛着を持って長く住み続けられる自然素材の家を提案するジェイウッドでは、ご契約いただいたお客様が里親となる苗木「プレゼントツリー」を通じて1本植樹しています。2015年10月から始めたこの活動によって、岩手県宮古市と宮城県大崎市で935本が植樹されました。1本1本の樹が森になり、水を育み、生き物を守り、やがて、いのちのつながりが生まれます。

※2021年9月時点



● 地域活性化に貢献

2016年4月から本社敷地を会場として「大沢マルシェ」を計10回開催しています。これまでの出店者は547社、来場人数は22,731人を数えています。地場産業である住宅会社として、地域のコミュニティづくり、活性化に貢献しながら、ブランド認知度アップ、継続的な来店により中長期の見込み客づくりにつなげています。



株式会社ケイディアイ

KDI

関連SDGs



● 「快適なくらし」をより長く続けられる住まいづくり

注文住宅では、お客様が「快適」と感じられる住まいを実現するため、自由設計にこだわっています。23年にわたる都内の建築経験で、制限の多い都市部の土地でも最大限に活用したプランを作成しています。使用する建材は新建材のほか、無垢材、漆喰といった自然素材を利用したものなど、お客様の「快適」に合わせて提案しています。また、24時間受付のコールセンターを設置し、お引渡し後も長く快適な暮らしをサポートしていきます。



● 協力会社とともに成長していく企業として

住宅の建築をするにあたり、120社を超える会社の方々の協力をいたいただいています。ケイディアイが主催する安全大会等の行事を通して、知識やノウハウなど、情報の共有を積極的に行ってています。協力会社の方々とともに成長していくことで、住宅産業の持続と発展に尽力いたします。



美容・健康事業

各種化粧品、医薬部外品、栄養補助食品など、自社製品を中心とした通信・対面販売での直販および卸販売を行っています。また受託製造(OEM・ODM)機能を有し、他社への製品供給も行うことで、トータル的にお客様の美容と健康をサポートしています。

関連SDGs



株式会社JIMOS

JIMOS

● 森林保全団体への支援活動を開始

「森と人がずっとともに生きる社会」を目指して活動を行う森林保全団体more trees(モアツリーズ)への支援活動を開始。マキアレイベルの商品の販売数に応じて支援を行います。お客様とともにこの取り組みをすすめることで、商品1つ当たり約100gのCO₂削減に貢献することができます。

FOR more Trees®
森林保全団体



● メイクで女性の心も彩るプロジェクトへの参加

一般社団法人Coffret Project(コフレプロジェクト)へ化粧品の寄付を行なっています。貧困や女性差別の習慣などにより過酷な状況を生きてきた発展途上国の女性たちに対して、コスメの力で自信と尊厳を取り戻し自立につながる活動に貢献しています。



関連SDGs



株式会社ベルエアー

BELAIR

● 桜プロジェクトによる被災地支援

特定非営利法人ハッピーロードネットの桜プロジェクトに参加し、サプリメント初購入の会員1名増につき1,000円を寄付しています。東日本大震災で被害を受けた地域住民に元気と希望を与えるため、福島県浜通り地域に桜並木をつくるお手伝いをしています。



● 東京都スポーツ推進企業への認定

オリンピック準備局主催イベントへの出品をきっかけに、公益財団法人東京都スポーツ文化事業団の取り組みに賛同し、2021年度の東京都スポーツ推進企業に認定されました。健康に携わる企業として、従業員に徒步通勤や階段使用を推奨し、日常的な運動を習慣づけています。

